

熊本大学シラバス

基本情報

授業科目名	(日)	医療薬科学課題実習		
	(英)			
時間割コード	6505	開講年次	1年	
学期	後期	曜日・時限	他	
講義題目				
担当教官	白崎哲哉・松永浩文			
科目コード	6923270020	科目分類		
選択/必修	必修	単位数	2	

詳細情報

授業形態	実習
授業の目標	医薬品開発の一連の流れを理解し、必要な技能を習得する。
授業の内容	<p>医療薬科学特論を基に、課題として与えられた医薬品の開発について、シーズ・リード化合物の発見から新規医薬品の発売に至るまでに必要な一連の試験研究について実施計画を立て、その一部を実習する。</p> <p>1. 試験実施計画作成(生物系白崎・化学系松永担当; 演習10時間)</p> <p>2. 化学系実験: 高活性医薬品に不可欠な光学活性化合物の高純度合成における必須技量などの習得(松永担当; 実習25時間)</p> <p>3. 生物系実験: 薬理活性、薬物動態、毒性などに関する試験の習得(白崎担当; 実習25時間)</p>
キーワード	医薬品開発・試験研究・実施計画・化学系実験・光学活性化合物・合成・生物系実験・薬理活性・薬物動態・毒性・試験
テキスト	特に用いない。必要時に応じてプリント等を配布する。
参考文献	内容に応じてその都度提示する。
評価方法・基準	席状況およびレポート(化学系及び生物系それぞれの実習の内容および追加で出されるレポート課題)から評価する。出席率およびレポート内容が指導教官の合格基準を満たさない場合はそれを満たすまで行う。ただし、受講年度内にそれが達成されない場合は不合格とする。
履修上の指導	受講生は自分の専門分野以外の実習を行う事になるので、それぞれの分野に関する基礎知識や基本操作の習得を心掛けるとともに、実際の医薬品研究開発における多面的思考能力を身に付けましょう。
事前学習	特に必要としないが、担当教官より別途指示された場合には与えられた課題に対して予習しておく事。
事後学習	各種実験及び課題のレポート作成をしながら、各領域での研究意義やその原理の理解を深める事。